

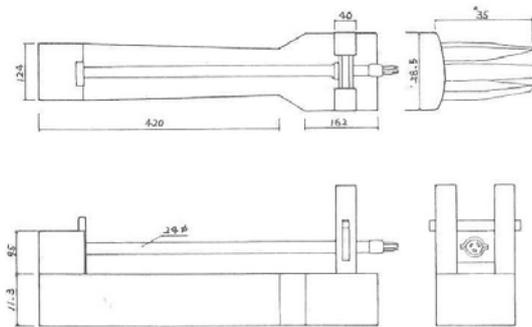
様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

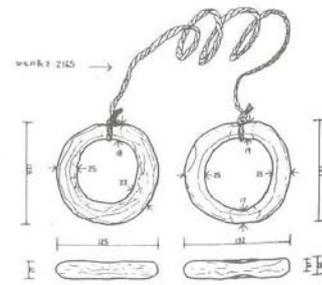
県 HP公開（可・否）

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野（ふりがな）	(分野) 木地椀	(ふりがな) きじわん	
地域独特の呼び方			
タイトル	ロクロ挽き		
伝承地域	南会津地方		
由来（年代）	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで(いつまで)伝えられてきたか)</p> <p>木地椀づくりの工程は大きく分けて、原木の伐採、アラガタトリ、カタブチ、ナカギリ、ロクロ挽きの順で行われる。</p> <p>これらの工程は木地師の手で一貫作業で行われていたが、ロクロ挽きが手引きから水車、電動に切り替わり分業化して町工場の作業となり、木地師の仕事はアラガタトリだけとなり消滅した。</p>		
内容	<p>(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども)</p> <p>ナカギリの終わった木地ガタをロクロの爪に打ち付け、ロクロを回転させてカンナボウで挽き椀に仕上げる。</p> <p>カンナボウで椀の外側を荒挽きし次に内側を挽く。内側を仕上げた後再度外側を仕上げ、最後に高台の部分を仕上げ切り落とす。</p> <p>カンナボウは、荒挽きと仕上げを兼ねたものと高台用の二種類があった。</p> <p>手引きロクロはロクロ軸に麻縄を巻き付け回転させ、手前に引いた時にカンナを当てる。</p> <p>ロクロの回転は、大正の時代に入り手引きから水車に代わり、その後電動へと変わった。</p>		
大きさ・材質	(大きさ：緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。	(材質)	
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	出典『木地語り』	南会津町教育委員会	

キーワード



手引きロクロ



ロクロ引きのヒモと輪

(『木地物語』)

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

活動の様子が分かる資料等があればコピーをご恵与ください。